

お
ぼ
ん

ちり
塵が塵のままに
照らされて
ひかり輝いている

Dust, when it is illuminated,
shines and sparkles just as it is.

真宗教団連合2025年法語カレンダーより



御同朋の社会をめざす運動(実践運動)
兵庫教区委員会

『法蔵菩薩の物語』 ほうぞうぼさつ

ある夏休みの図書室で、こんな詩を覚えてくれた子がいました。

ひなたぼっこ こねずみしゅん

でっかい うちゅうの なかから／ちっぽけな こねずみ いっぱき／みつけど
して／おでこから しっぱのさきまで／あたたためて くれるのね／・・・／
おひさま／ぼく／どきどきするほど うれしい (出典…童話屋『のはらうたⅣ』)

なんだかほっこりとする詩です。

昔々のはるか昔「じようこう」という仏さまが現れて、多くの人々を悟りに導き、やがて世を去られました。次に「こうおん」という仏さまが現れて同じように多くの人を悟りに導き、去られました。さらに次々と全部で五十三の仏さまが現れて同じよう去っていかれました。しかし、それでもまだ悟りに導かれない者も多くいました。次に現れたのが「せじざい王」という仏さまでした。その「せじざい王」の説法を一人の国王が聞き、深く感銘しました。国王は、全てを捨て出家し「ほうぞう」と名のられました。「ほうぞう」は「せじざい王」をたたえ、あなたのようなすばらしい仏となつて、生きること死ぬことに苦しむ全ての者を救います、と誓われます。そして「せじざい王」より、この大宇宙の全ての星々の様子とそこに住むあらゆるいのちの姿ひとつひとつ見せていただくのです。そして、その大宇宙の片隅であくせく生きているちっぽけなこの私を見つけ出し、私のために四十八の誓いと願いを宣言されます。だれからも気付かれなかったこの私に「ほうぞう」は語りかけてきます。「あなたを見放すようなら仏とはなりません」と。そして、そのため気の遠くなるような長い修行を積み重ね、その願いを完成されて仏となりました。それが「あみだ」という仏さまです。「あなたを救える仏となりました」

これが、お釈迦さまが弟子の阿難にお話しされた『仏説無量寿経』に示されている阿弥陀仏誕生、法蔵菩薩の物語のたいたいです。

この「ひなたぼっこ」という詩を読んだとき、この法蔵菩薩の物語が重なってきます。「おひさま」である阿弥陀さまが「こねずみ」であるちっぽけな私をわざわざ見つけ出して、頭のとっぺんから足の先まで「なもあみだぶつ」と満ち満ちてあたたためて下さるのです。

今年もお盆の季節がやってきました。浄土真宗のお盆では、ご先祖の方を縁として、この法蔵菩薩、阿弥陀さまの願いと誓いのお心を聞かせていただきます。その中には「どきどきするほどうれしい」そんな出遇いがあるはずですよ。



赤穂北組 専稱寺 赤松普宣